

事業所名

KTC放課後等デイサービスはぐぼん薬院駅前

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念	<p>【すべての子どもたちに多様な機会を提供し子どもの未来の選択肢を広げる】 遊びを通して社会生活の中で必要な様々な能力を身に着け向上していけるよう支援します。 個々の発達レベルや特性に合わせた学習支援として「ただ問題を解き答え合わせをするのではなく」問題の解き方を特性に合わせて理解できるよう支援し、「今までできなかった問題を自力で解くことができる」成功体験から学習への苦手意識を軽減させていき、「できた」を通して様々な事を自ら楽しんで学んでいくことができる環境を提供していきます。</p>								
支援方針	<p>各種支援カリキュラムや遊びを通して集団内における行動の方法や他者との関わりを学び、他の子の行動を見ながら行動することや話し方を「まねをしてみる」ことを促し、会話や体をどう動かすのかなどを学べるよう支援を行う。また、遊びの中からルールを守り行動することの重要性や、どのようにコミュニケーションを行うと良いかなど、社会性や人間関係・認知や行動・言語やコミュニケーションを学べるよう支援する。 食育の観点から「他のお友達が食べているところ」や自分で材料から「おやつ」等を作ることで、その食品が何からできているかを学び「食べても大丈夫」という認識をすることができるようにし、生活面や健康面での支援をする。 5領域すべてを含む支援を実施するとともに、個々の状況や課題などに合わせた個別支援において各領域に特化した支援を実施し、能力の維持向上および自立のために必要な能力の向上を目指していく。 学校や他の習い事などでの状況を担任の先生や担当者又はご家族様から聴き、事業所以外での生活の状況や課題点を総合的に把握し、その情報と事業所内での状況などを鑑みて本人が抱える課題点などを乗り越えていくことができるよう支援していく。また、これらの情報を定期的及び必要に応じて聴き取りしていくことによりPDCAサイクルによる支援の提供を実施していく。 事業所内での取り組みや同世代の子ども同士の交流・「デイでの経験が豊富な年長者」や「上手くできる子」が低学年の子や新しく入ってきた子に色々と「教え合いっこ」ができる環境を整え、社会的能力や地域社会への参加をしていく時に必要な経験や能力の向上を図っていく。</p>								
営業時間	平日	10	時	0 分から	19 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	事業所で定める送迎エリア範囲（学区）内において実施します
	学校休校日	9	時	0 分から	18 時	0 分まで		なし	事業所で定める送迎エリア範囲外の場合は実施しません。
本人支援	健康・生活	<p>健康な生活習慣の促進や日常生活における基本的な動作、自ら大人に伝えられるような自立を促す。 ・健康状態の維持、改善(体温測定・手洗いうがい・体調の自己把握・大人への報告など) ・生活リズムや生活習慣形成(事業所流れに沿った行動など) ・基本的な生活スキル獲得(排泄・手洗い・おやつ、活動の準備、片付けなど) ・生活におけるマネジメントスキルの育成(生活が困難な場合の補助器具の貸し出しなど)</p>							
	運動・感覚	<p>運動や動作の基本的技能など、日常生活に必要な身体能力の向上のための支援を行う。 ・姿勢と運動・動作の基本的技能の向上(宿題時の座る姿勢確認、保持、体幹トレーニングなど) ・身体の移動能力の向上(車の乗降、段差や階段の上り下り、縄跳びなど) ・保有する感覚の活用や過敏や鈍麻などの特性への対応や環境整備(ビジョントレーニング、補助器具の貸し出しなど)</p>							
	認知・行動	<p>一人ひとりの特性に応じた認知や感覚のこだわり、偏りに対する支援を行う。 ・認知の特性についての理解と対応(認知やこだわり、偏食等の理解) ・感覚や認知機能の活用、発達(ビジョントレーニング、金銭感覚など) ・外部環境の適切な認知と適切な行動の習慣(おでかけイベント、地域交流、外部講師によるレッスンなど) ・時間等の概念の形成を図り、認知や行動の手がかりとして活用(1日の時間の流れの書き出し、ブロックデイなど)</p>							
	言語コミュニケーション	<p>様々な場面における人との相互作用を通じて、コミュニケーションの基礎能力や読み書き能力の向上を図り、主体的にコミュニケーションを展開できるよう支援する。 ・人との相互作用によるコミュニケーションの能力の獲得、基礎的能力の向上(朝の会、帰りの会、発表の場の提供、集団活動、おでかけイベントなど) ・言語の受容と表出、形成と活用(発表の場の提供、集団活動、学習支援、宿題チェック学力の把握など) ・読み書き能力の向上(学習支援、宿題チェック、学力の把握など)</p>							

	人間関係社会性	遊びを通じて社会性の発達や他者との関わり、アタッチメントを形成し、精神や情緒が安心できる「第2の基地」としての役割を安定して果たせるよう支援する。 ・アタッチメント、人間関係の形成(挨拶、スタッフとの関わり、集団活動など) ・自己理解と情緒の安定(自己肯定の機会の提供、集団活動、相談室の活用など) ・役割分担やルールを理解と集団活動への参加(来所時の流れ、はぐぼんでのルール、集団活動など)		
	家族支援	送迎時に、学校や事業所の様子、支援内容など伝達と、日々の連絡帳で情報共有を行う。家庭内での支援方法についても相談等を実施、また、必要に応じて面談や保護者と話し合う場を作り、子どもだけでなく家庭の支援も実施する。	移行支援	ライフステージの移行に合わせて、進路や内容等の情報提供を行ったり、移行元や移行先との連携を取ることで、つながりのある支援を実施する。
	地域支援・地域連携	児童福祉施設等の地域資源の活用やおでかけイベント等での地域連携を通じて社会参加を行い、地域社会との交流を実施する。	職員の質の向上	社内で、支援内容や虐待防止、障害についての理解を深める研修を実施、その他、感染症や自然災害等、各種マニュアルも共有し、職員間で共通認識している。また、ケース会議やモニタリングなどの職員間で利用者の情報共有を行い、意見を出し合いながら支援の質の向上に努める。
	主な行事等	別紙参照		